データ交換について

データ交換（Edi 通信）とは、取次（トーハン・日販）との間でデータの送受信を行うサービスです。

送受信内容		トーハン	日　販
送信	売　　上	○	○
	書籍コード発注	○	○
	雑誌定期改正	○	○
受信	雑誌入荷明細	○	△
	書籍入荷明細	○	△

日販からの入荷データ受信について

楽天 BN と日販との業務提携により、それまで楽天 BN とのデータ交換実施店のみの対応です。２０２６年１月現在は新規申し込みには対応していません。

料金（いずれも本体価格）

内容		トーハン	日販
加入費用		10,000 円	10,000 円
月基本料	送信	1,909 円	1,909 円
	送受信	2,864 円	---
月額処理費		従量制：2 円/1 レコード	19,000 円

加入費用は申込される時に必要な費用です。中止されても返金いたしません。

トーハンの月額処理費について

送受信されるデータ量により金額が定まります。1 レコードに入る点数、1 点あたりの単価は下表のとおりです。おおよその費用目安として、送信のみ：1000 円~5000 円、送受信：3000 円~9000 円程度です。

データ種別		1 レコードに入る点数	1 点あたり単価
コード発注		5	0.4
定期改正		11	0.19
売上	書籍	11	0.19
	雑誌	13	0.16
入荷	明細	9	0.23
	合計	1	2

※　スリップレス（POS 売上データ出版社配信サービス）について

直接取次へお申し込みください。（データ交換料金とは別に費用がかかります）

次のページへ

データ内容について

- 売上データ：定期納品書・注文納品書・売上入力で登録したデータと、らく POS 売上データ
- 書籍コード発注：補充発注、追加発注で登録したデータ
- 雑誌定期改正：定期改正で登録したデータ
- 入荷明細：新刊送品、注文品送品が対象。セット品は基本的に明細内容（ISBN,書名）が含まれません。一部ですが書誌内容（書名、著者など）がないデータもあります。書名に巻数が含まれないデータもあります。雑誌新刊データ取込で雑誌入荷をせずに定期納品書発行が可能です（雑誌入荷で内容確認は必修です）

いずれも基本設定でデータ交換できるように設定が必要です。

データ交換するための必要条件

インターネット接続が必要です

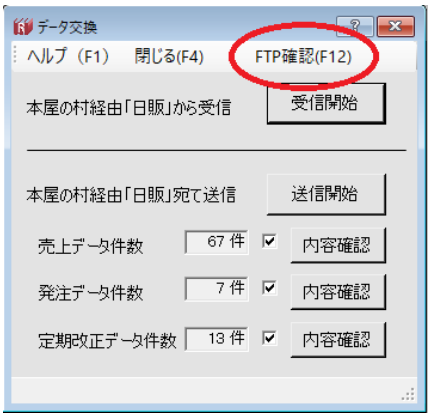
確認方法

①. メニューバー　　→ 商品入力 → 「データ交換」を選ぶ

②. データ交換画面（右図）の「FTP 確認(F12)」を実行

③. 「データ交換可能です・・・・」と表示されたら OK です。下記の方法でお申し込みください。

④. 「データ交換できません・・・」と表示されたら、インターネット環境やパソコンのセキュリティ設定をご確認ください。



データ交換の申込方法

らくほんねっと宛「データ交換希望」としてお申し込みください

申込先　――――→お問い合わせ窓口

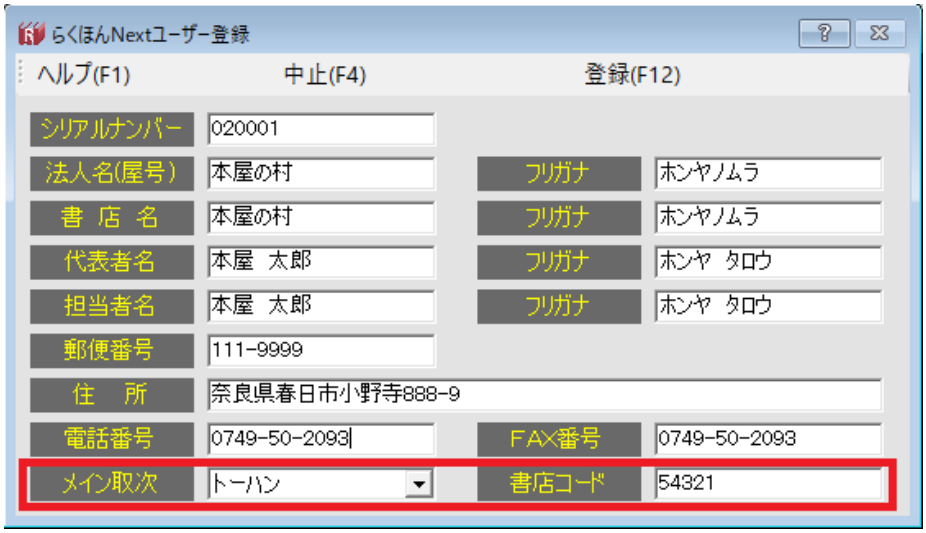
次のページ：データ交換するための設定

データ交換するための設定

1. ユーザー登録

らくほんNextメニューバー → ツール → 「ユーザー登録」を選ぶ

- ユーザー登録が開いたら、メイン取次が「トーハン」もしくは「日販」になっているかを確認。違っていたら「トーハン」か「日販」を選択する
- 「書店コード」が番線印の書店コードになっているかを確認。違っていたら入力。
  - トーハンの書店コードは半角数字5桁
  - 日販の書店コードは半角数字6桁。ハイフォンは省き、5桁の場合は最後に0（ゼロ）を追加して6桁にする。
- 以上を確認し、「登録(F12)」を実行。



2. 取次元帳

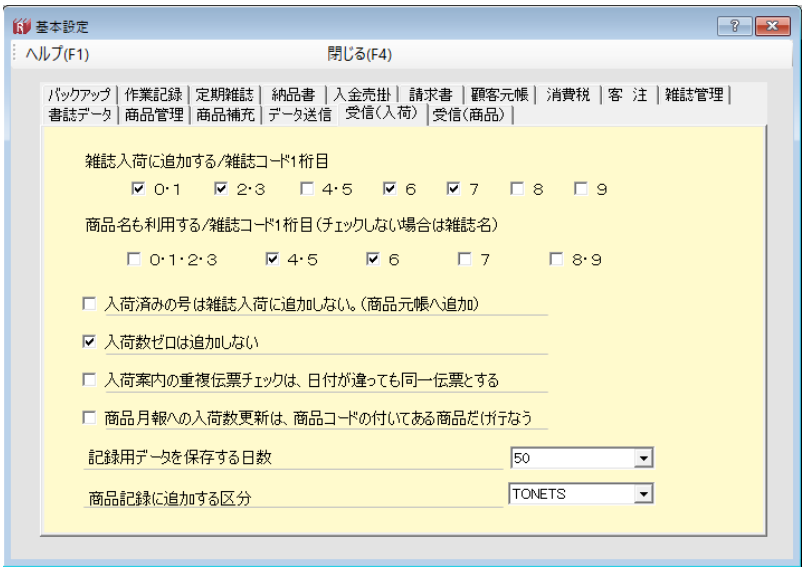
メニューバー → 商品管理 → 「取次元帳」を選ぶ

- 取次元帳が開いたら、取次コード=1の取次マスタと取次名が「トーハン」もしくは「日販」となっていることを確認。
- 店名、書店地区、取次番線、書店コードが番線印通りになっているかを確認。違っていたら訂正（書店コードはユーザー登録で訂正）
- 補充区分は「Web」に設定。
- 以上を確認し「閉じる（F4）」で終了します。

3. 基本設定・受信(入荷)タブ

メニューバー → ツール → 「基本設定」を選び、「受信(入荷)」タブをクリック

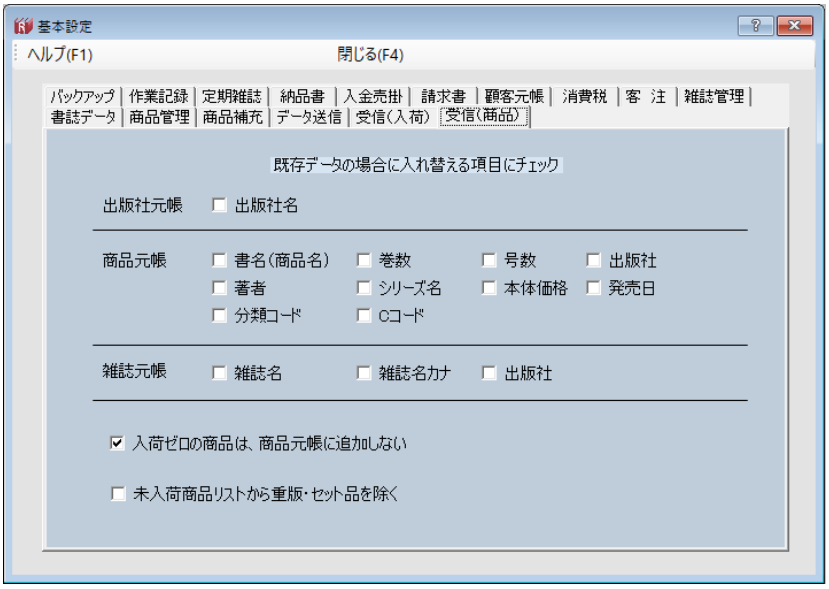
- 雑誌入荷に追加するデータ/雑誌コード１桁目：チェックした雑誌コードの１桁目の商品は雑誌入荷に追加されます。それ以外は直接入荷処理されます。
- 商品名も利用する/雑誌コード１桁目（チェックしない場合は雑誌名）：受信した商品名を、納品書の商品名とします。受信するデータによっては、特集タイトルを商品名にしていることがあります。データにはそれぞれクセがありますので、それに合わせて設定してください。
- 入荷済みの号は雑誌入荷に追加しない。（商品元帳へ追加）：既に入荷済の号は、雑誌入荷に追加せずに、直接入荷処理されます。
- 入荷数ゼロは追加しない：書誌データ（新刊ご案内）もダウンロードする場合はチェックしたほうがいいです。
- 入荷案内の重複伝票チェックは、日付が違っても同一伝票とする：実情により設定
- 商品月報への入荷数更新は、商品コードの付いてある商品だけ行なう：追加の有無を設定。
- 記録用データを保存する日数：設定した日数だけ保存します。
- 商品記録に追加する区分：商品履歴で表示する区分を設定します。



4. 基本設定・受信（商品）タブ

「基本設定」の「受信(商品)」タブをクリック

- 既存の場合に入れ替える項目にチェック：受信したデータが既に登録されている場合、チェックされていれば更新されます。新規データや既存でもその項目が未登録の場合は、チェックに関係なく記録されます。
- 入荷ゼロの商品は、商品元帳に追加しない：入荷しない商品を商品元帳にデータ記録する場合はチェックしない
- 未入荷商品リストから重版・セット品を除く：： チェックしません。

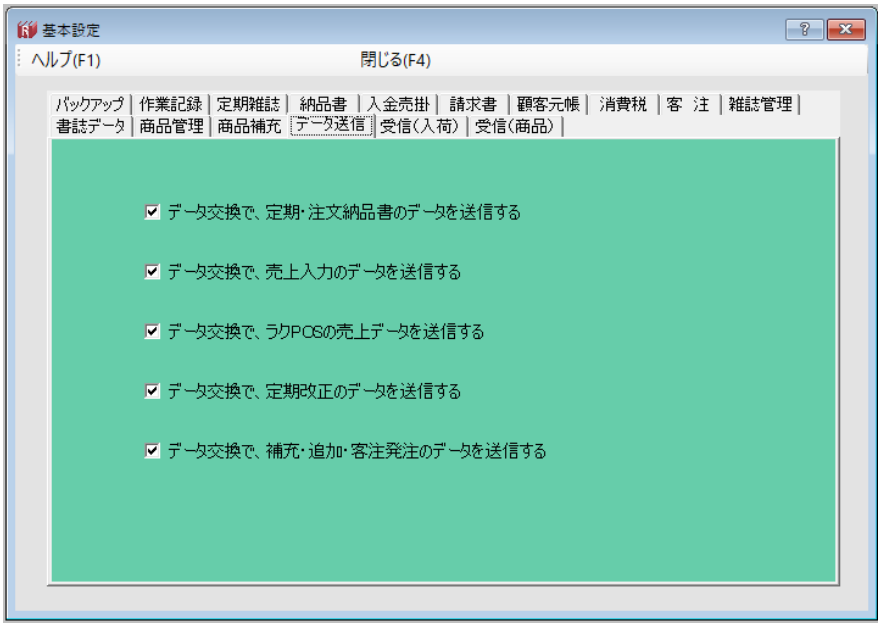


5. 基本設定・データ送信タブ

「基本設定」の「データ送信」タブをクリック

いずれも、おこないたい処理にチェック

- データ交換で、定期・注文納品書のデータを送信する
- データ交換で、売上入力のデータを送信する
- データ交換で、ラクPOSの売上データを送信する
- データ交換で、定期改正のデータを送信する
- データ交換で、補充・追加・客注発注のデータを送信する



データ交換の操作方法（それぞれのヘルプをご覧ください）

- データ交換受信
- データ交換送信